

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	県道関連事業	会計	一般会計	事業No.	604	施策順No.	44-016
		事業種別	政策・重点	予算科目	8-2-3-13-15		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	国県関連事業課		
施策	44 交通機関と道路の充実			事業期間	開始	終了	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	関係地区に居住する市民						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		居住者数		106630	105821	105691	105691	
	意図	県事業の円滑な推進						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	この事業の実施により、県の計画に基づき実施できた県事業の箇所数	2	4	9	3	6	4	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		羽場大瀬木線の(仮)松川大橋の上部工も発注され、幹線道路の整備が推進した。						

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	県事業の促進を図るために起因する取付等関連市道改良及び雨水排水を受ける河川、水路の整備工事。 (補足説明) 羽場大瀬木線の供用開始(平成25年3月)に合わせるなかで、県事業の進捗を勘案し計画的に実施したい。 桐林大明神原線桐林工区の事業化を図る。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	羽場大瀬木線他2路線の道路改良事業に起因する取付等関連市道の工事及び補償等を実施。 羽場大瀬木線等路線について長野県と地元との調整および交渉。 用地補償1式・家屋補償3戸(市道伊賀良37号線) 道路改良工事3路線(市道県262号線・市道千代146号線・市道上久堅8号線) 水路改良工事1カ所(宮の上) 河川管理用道路舗装工事1カ所(松尾毛賀沢)	工事箇所数	6カ所
23年度実施計画	羽場大瀬木線他4路線の道路改良事業等に起因する取付等関連市道の工事及び補償等を実施。 羽場大瀬木線等路線について長野県と地元との調整および交渉。	工事箇所数	6カ所

3 事業コスト

事業費	(千円)		22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項	22→23繰越明許40,100千円
	特定財源	国庫支出金					
		県支出金					
		起債					
		その他					
	一般財源		87,690	47,544	22,000		
	計(A)		87,690	47,544	22,000		
	正規職員所要時間			2,000			
	臨時職員等所要時間						
	人件費計(B)			7,152			
	トータルコスト A+B			54,696			

4 事業に対する市民や議会の意見

各地区から羽場大瀬木線などの県事業に関する要望がある。
-----------------------------

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民、市内滞在者、財産、事業者が、便利で安全に移動ができる	施策の成果指標又はムトス指標	市内の移動に不便を感じる市民の割合(道路)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	県事業の促進を図るため、起因する取付等関連市道改良及び雨水排水を受ける河川・水路の整備工事を実施し、事業の進捗を図った。		
	後期に向けた課題	地域、地権者からの要望が増加している。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	県事業の促進を図るため、地域、地権者との調整を実施した。		
	後期に向けた課題	地域、地権者からの要望が増加している。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	既存施設を利用した改良計画をし、事業費の削減を図った。		
	後期に向けた課題	工法検討により事業費の削減を図る。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	飯田市が管理する施設の為、管理者として実施している。		
	後期に向けた課題	今後も管理者として事業を実施する必要がある。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	①管理者は飯田市であり、安全を確保する必要がある。 ②管理者として安全の確保と利便性の向上。		
	後期に向けた課題	今後も飯田市の幹線道路網を整備する為、長野県に協力し県道整備を推進していく必要がある。		
全体を通じて	4年間の振り返り	県事業の促進を図るため、地域、地権者との調整を実施した。		
	後期に向けた課題	地域、地権者からの要望が増加している。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	--